

地震に備えよう!

お客様チェック用

家具の転倒・落下・移動に注意しましょう!

<input type="checkbox"/> 家具がない 安全な部屋がある	<input type="checkbox"/> 家具転倒の 恐れのない部屋で 就寝している	<input type="checkbox"/> 背の高い家具を 置いていない	<input type="checkbox"/> よくいる居間に 重量感のある 家具がない
家具の設置場所・収納方法について			
<input type="checkbox"/> 家具の上に 物を置いていない	<input type="checkbox"/> 家具転倒で 避難口を塞がない ようにしている	<input type="checkbox"/> タンス下部に重い ものを入れるように している	<input type="checkbox"/> 食器棚の物は 整理し減らしている
<input type="checkbox"/> ポール式は ストッパー式と 併用している	<input type="checkbox"/> 固定器具の取付時 壁の下地を確認 している	<input type="checkbox"/> コンクリート壁には ボルトや粘着式を 使用している	<input type="checkbox"/> キャスターはロックし 固定器具を使っている
家具の固定方法について			
<input type="checkbox"/> 家具の開き扉には 開放防止器具を 取り付けている	<input type="checkbox"/> 大型家電には 専用固定器具を 使用している	<input type="checkbox"/> 棚の収容物に 滑り止めマットを 敷いている	<input type="checkbox"/> ガラスには飛散防止 フィルムを貼っている

チェックが入らない場合は、対策が必要になります。

なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの?

ケガや火災・避難障害につながるからです

【近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合】



ご家族の負傷、火災の発生、避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。

**ケガ**

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

火災

家具などがストーブなどに転倒・落下することで、火災が発生するなど、二次的な被害も引き起こします。

避難障害

避難通路、出入り口周辺に家具類を置くと、つまずいてけがをしたり、避難の妨げになることがあります。

お住まいの防犯対策は大丈夫ですか？

お客様チェック用

～防犯対策チェックリスト～

1. ベランダ

- 手すり等は見通しのよいものになっている。
- 雨樋からベランダに登れない構造になっている。

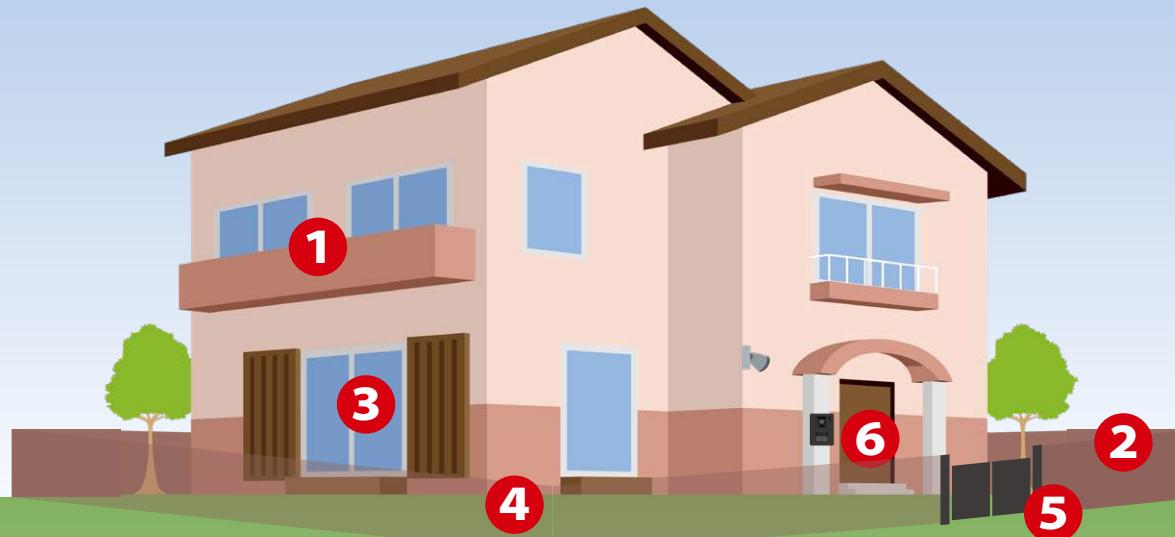
2. 塀・柵・垣根

- 植栽は見通しが良いように剪定されている。
- 上階への足場になっていない。

3. 窓

- サッシ枠に補助錠がついている。
- 雨戸に外れ止めがついている。
- 不正開閉に対する警報機がついている。

- カギ付きクレセントが設置されている。
- 窓ガラスが防犯性能の高い防犯ガラスになっている。
- 面格子が設置されている。



4. 庭

- 足場になるようなものを置いていない。
- センサーライトなど防犯機器がついている。
- 防犯砂利が敷いてある。

5. 門扉

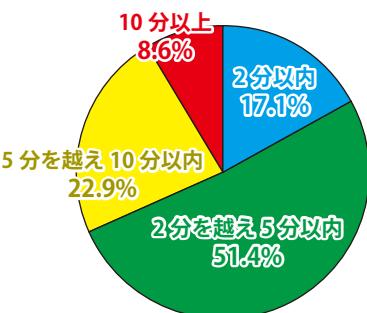
- 門扉が設置されている。
- 門扉を施錠できる。
- 録画できるモニター付きインターホンを設置している。
- 防犯カメラが設置されている。

6. 玄関・ドア

- ワンドア・ツーロックになっている。
- 扉の面付錠部分にガードプレートがついている。
- ガラス部分が破られても手を入れられない構造になっている。
- 扉自体が金属など、丈夫な材質になっている。
- ピッキング等に強い錠が2つ以上取り付けてある。
- サムターンカバーが取り付けられている。
- 主錠が防犯性能の高いタイプになっている。
- ドアチェーンや取り外し困難なドアスコープが設置されている。

ドロボウは侵入に5分以上かかると70%が諦めます。

侵入をあきらめる時間



防犯の4原則は「音」「光」「時間」「人の目」です。

防犯グッズを使用して対策しましょう。

データでは、進入手段のほとんどがガラス破りと無締りです。

ガラスからの侵入対策と戸締りがいかに重要かがわかります。